

**スローフードによる“食の世界遺産”「味の箱船」登録証  
贈呈式が開催（2021.11.22 15:00@三好市東祖谷総合支所）**

**（報道概要）**

徳島大学大学院社会産業理工学研究部の内藤直樹准教授は2020年～2021年にかけて、トヨタ財団国内助成プログラム・しらべる助成において「雑穀と若者のつながりで豊かになる地域づくりネットワーク」を組織し、日本スローフード協会、祖谷雑穀生産組合（三好市）や周辺の行政・池田高校等と連携し、東祖谷の在来雑穀の「味の箱船」への登録を進め、6種類（シコクビエ、ヒエ、アワ、キビ、モロコシ、ソバ）が同時登録されました。

この地域の山間部では、急斜面を利用した農業技術が発展しており、国連・FAOの世界農業遺産（GIAHS）に登録されています。雑穀生産は20世紀に激減したものの、現在も小規模な生産は続けられており、食文化としても受け継がれています。引き続き、スローフード日本や地域の生産者の方々と連携を深め、食の保全継承を行っていきます。登録証書の贈呈式が下記の日程で行われます。

**日時 11月22日 15:00-**

**場所 三好市東祖谷総合支所**

**出席者 東祖谷総合支所長、祖谷雑穀生産組合、徳島大学 内藤准教授、  
日本スローフード協会（リモート） など**

**取材をご希望の方はお問い合わせよりご連絡ください。**

**【問い合わせ先】**

徳島大学大学院社会産業理工学研究部・准教授  
内藤直樹

[naito.naoki@tokushima-u.ac.jp](mailto:naito.naoki@tokushima-u.ac.jp)

088-656-7103（総合科学部代表電話）